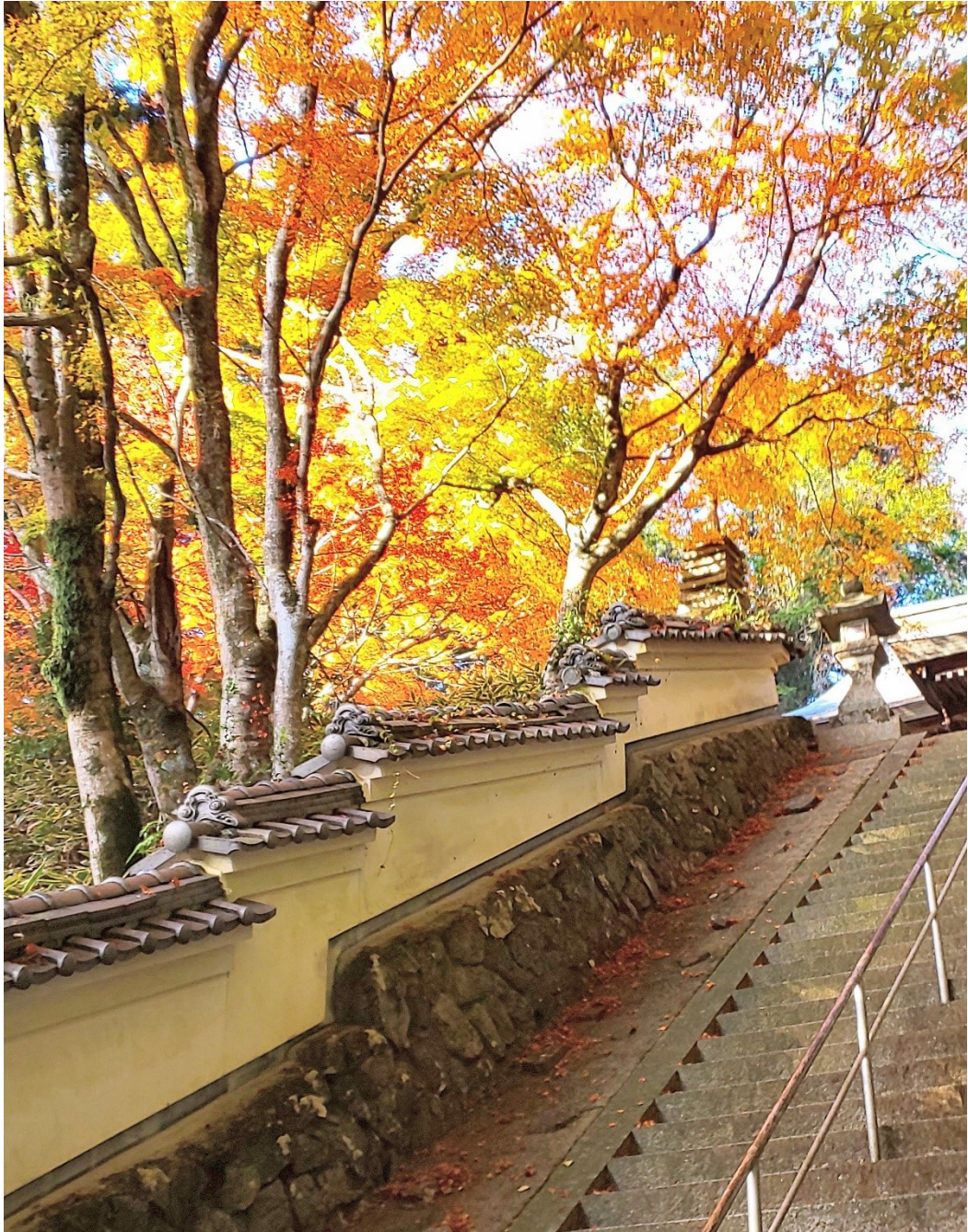


# あかがし

ほんざんじやまもり  
本山寺山森林づくりの会会報（第5号）



本山寺の紅葉 2020年秋 撮影：山國

## 2020年度 活動報告

‘20年度はコロナ禍の下で活動の制約を余儀なくされた。4月上旬にコロナ感染拡大防止の緊急事態宣言が発出され、森林づくり活動も中止。漸く5月24日（日）になって今年度初めての活動となる。44林班に向かい、参加者全員で3年計画の作業区域の確認とモニタリング調査区の新たな設定を4か所行った。

総会は、例年の会場では「密」になるため、本山寺を会場に借りて6月21日に開催。8月には恒例の安全研修会。今年のテーマは「ロープの使用と取り扱い」「伐倒時の注意事項」。

活動地のなかで44林班には2年前の台風による甚大な被害が残っており、視察の「さともり」担当者から“現場をモニタリング調査区に設定して倒木などの処理・整備状況を報告してもらいたい”との依頼あった。「はー01」の第1水源地付近の被害区域の倒木処理を中心に活動する。その他、自然歩道の溝掃除や木段取り換えなどの整備、道具入れ倉庫周辺の常緑広葉樹除伐や道具類の手入れなどを行う。

12月の第1木曜日から活動領域を45林班に移す。新任の森林官が見回り中で激励を受けた。この辺りは人工林で間伐が行われているが、伐倒したまま放置された状態なので林床整備が中心となる。また密集した常緑広葉樹の除伐も同時に行う。

1月3日は恒例の本山寺の初寅会。本年は「密」を避けるため大護摩は中止されたが、我々の活動の安全を祈念するためお神酒を献上し、参加者全員でお参り。

1月中旬に再び1か月間の「宣言」が発出され、しかも延長されたため活動中止期間も延びたが、3月4日（木）再開。

月毎の保全活動参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
回数	0	1	2	2	3	2	3
人数	0	12	30 体験1名 総会	23	33 安全研修会 納涼会	19	25 体験1名
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
回数	3	2	1	0	1	回数	20回
人数	20 体験1名	24 体験2名 納山会	8 入山会 (安全祈願)	0	9	会員参加	203名
						(木) 9回	92名
						(日) 11回	111名
						体験参加	5名



写真で振り返る1年

6月 作業前打ち合わせはマスク必携



6月 本山寺可笑亭（かしょうてい）にて総会



8月 ロープの使い方について（安全研修）



8月 本山寺の北の自然歩道の木段整備



11月 傾斜木を引き起こす



3月「宣言」解除 春の日差しのなかで





# 2021年度 活動計画

令和3年度の保全活動に当たって、私たちの「本山寺山森林づくりの会」活動は今年で10年目になる。公益社団法人日本山岳会関西支部が、近畿中国森林管理局と「社会貢献の森」協定により、本山寺山国有林44林班、45林班の49.52haを「日本山岳会関西支部本山寺山の森」と名付けて、自然保護活動の一つとして森林づくり活動を推進している。保全活動は、山岳会会員と一般公募の会員により組織した私たちの会で実施している。

活動日は定例(毎月第1木曜日・第3日曜日。ただし1月のみ初回は3日)と臨時があり、8ページに今年度の活動(予定)日を記している。

活動場所は「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」事業に、昨年採択された同じところ7haと新規に44林班に300mの作業道(茶色の線)の開設が加わる。①倒木処理②ヒノキの人工林の林床整備③天然林の常緑広葉樹の除伐と林床整備④作業道の保全整備、が主な活動となる。

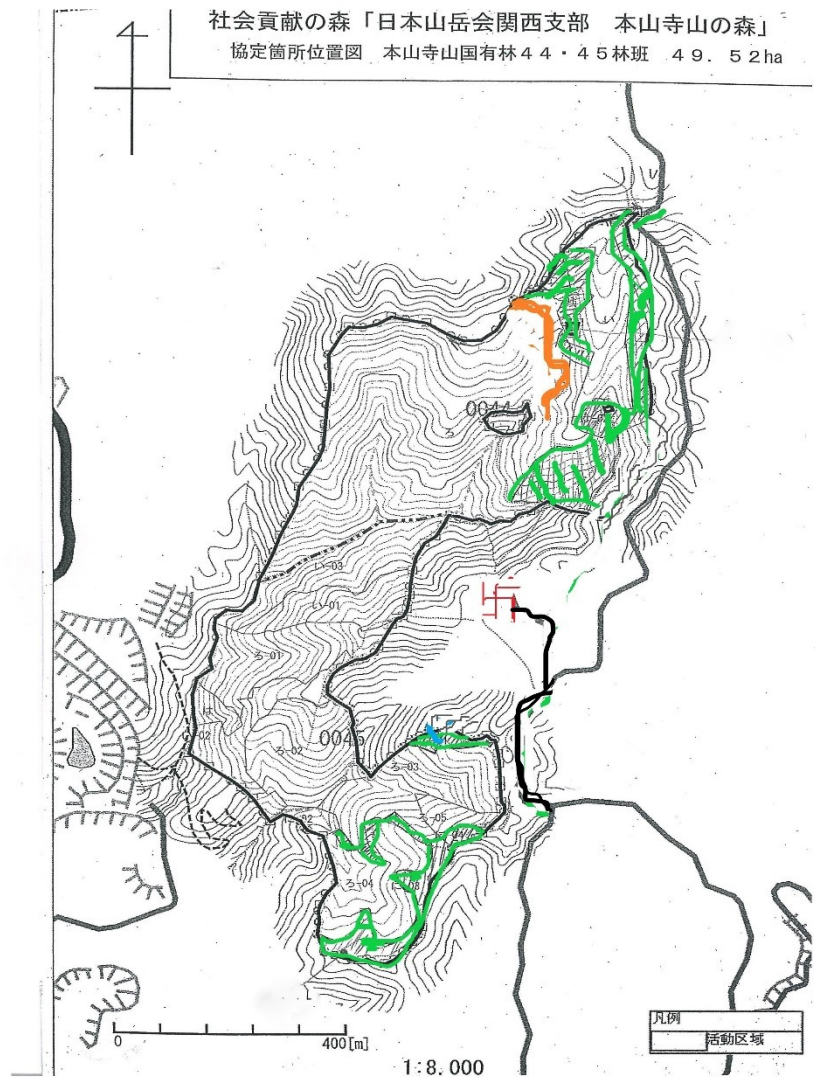
生物多様性豊かな森、温暖化効果ガスの減少への貢献。大阪府下では貴重なモミ・ツガ・アカガシの冷温帯林の保全活動に寄与したい。安全第一で保全作業を楽しみ、安全研修会、納涼会、納山会、入山会、安全祈願は例年通り実施する。ポンポン山に登られる人々に、明るくきれいになったと声をかけていただけるように活動したい。勿論体験参加者も引き続き大歓迎。

モットー

**出来るときに**

**出来ることを**

**無理なく安全に**





【本山寺山の生き物たち】



←サワガニ君  
の 応援

(2019.05.02)

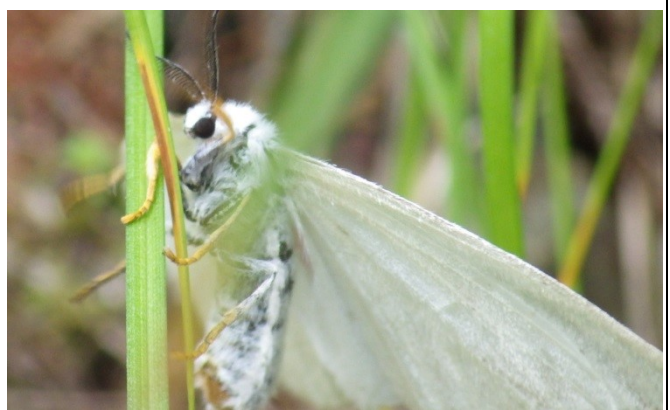


→  
己(へび)は昆  
沙門天の使  
い、活動の見  
学？ (蝮か  
も)

(2019.05.02)

キアシドクガ 二態 左は羽化の途中か？(2019.06.06)、

右は羽を広げている(2019.06.16)



左は「トカゲ(2019.04.04)」、

右は尾が長い「カナヘビ」(2020.09.20)



付録：侵入者

小屋の中の蜂の巣





【花の本山寺山】

オカタツナミソウ 2019.06.06



境内の石仏とモチヅシ 2017.05.16



咲き始めたツバキ 2019.03.17



ツバキの曾孫生え  
2017.05.21



アセビ 2019.03.14



コトヒラシロテンゲダケ 2020.07.19



ヤマジノホトキス 2020.08.06



ダンドボギク「付録：外来の侵入者」 2020.09.20

## 会員の声



### 「挑戦すれど無理をせず」

豊田哲也

鹿児島から秋田まで全国に転勤する中で、各地の山に登ると共に、自然に関わる色々なことに興味が広がっていきました。定年後は仕事を離れ好きなこと(山と自然)をしたいと思いました。退職後1年目は森林インストラクター資格に挑戦。合格し広島の森林インストラクター会に入会、自然観察会や子ども樹木博士等の活動をしました。2年目、マッターホルン挑戦のためトレーニング、3年目に登頂しました。また日本山岳会に入会し翌年、会員の紹介で地元森林整備の会に入りチェーンソーや刈払機の教育を受講、伐木等の作業を行いました。4年目、日山協の山岳指導員資格に挑戦し、5年目に取得しました。大阪で子どもと暮らすため二世帯住宅建築に取り掛かり、翌年4月に完成転居しました。6年目、日本山岳会関西支部に転部と共に斧田さんに誘われ本会に入会。8月北アルプス錫杖岳笠ヶ岳登頂にて日本の山千山登頂達成。7年目、茂木さんに誘われヒマラヤ・ランタン国立公園トリスリ谷沢登りに挑戦、途中敗退しました。7月は北鎌尾根、11月には台高・往古川沢登りができました。8年目もこれまで行きたかった冬の大山北壁、6月堂倉谷沢登り、9月毛勝山、大峰・白川又川沢登り、10月熊野古道小辺路と山行を重ねています。まだまだ登りたい山、行きたいルートが沢山あり、どうしても登山中心で本会への参加が少なくなり申し訳ありません。

これからも年を考え、無理せず値打ちある山行を追求していこうと思っています。数を追ってるわけではありませんが、そうやって国内2千山達成できればいいな。

## 俳句 短歌 川柳 その他コーナー

### 短歌

年明けも 一羽の雀 訪ね来て コロナのことを 聞いて帰りぬ (斧田一陽)



### 川柳

見上げれば 風雪惚ぼる 天狗杉 (倉谷邦雄)



高槻の古木“天狗杉”

樹齢300年余 高さ20M

### 投稿のお願い

俳句・川柳・山旅記・自然保護活動記や本の紹介等の投稿お願い。

編集委員まで。



編集後記

「宣言」が2回も発出されたため活動日の調整に難儀し、かつ楽しみな納涼も納山も例年どおりとはいかなかった、という忘れ得ぬ散々な年だった。

「あかがし」は、会員の方から感想文の寄稿や写真の提供を受けたおかげで編集は順調に進み、かつ、今号において本山寺山に棲息する小動物や花々を取り上げてみた。読者の感想や如何？



来年は本会結成10年を迎える。記念事業の準備を今年度から行う案も既に出ている。会員のアイデアを期待したい。

◀作業出発前 マスク必携

2021年度 定例・臨時活動日一覧表 (予定) (網掛けは定例日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1(木) 11(日) 18(日) 29(木祝)	6(木) 16(日) 23(日)	3(木) 10(木) 20(日)	1(木) 8(木) 18(日) 25(日)	5(木) 15(日) 26(木)	2(木) 12(日) 19(日) 30(木)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
7(木) 17(日) 24(日)	4(木) 11(木) 21(日)	2(木) 12(日) 19(日) 26(日)	3(月) 16(日) 27(木)	3(木) 13(日) 20(日)	3(木) 13(日) 20(日)

本山寺山森林づくりの会会報「あかがし」第5号

発行日：2021(令和3)年5月

発行者：本山寺山森林づくりの会

発行所：〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田ビル3階304号

公益社団法人 日本山岳会関西支部内

編集委員会：斧田一陽 武田壽夫 黒山泰弘 倉谷邦雄

事務局連絡先：斧田一陽方 072-633-6556 FAX 072-633-6556

武田壽夫方 090-2042-9101

E-mail：[enn-no-odunu@ares.eonet.ne.jp](mailto:enn-no-odunu@ares.eonet.ne.jp)

ホームページ：「本山寺山森林づくりの会」と入力⇒開いた画面の中で「活動記録」を選択